

地球惑星物質学グループ ニュース

10月30日-11月1日に、三重県度会町で断層の調査を行いました。



断層面

このチャート中に発達している断層面は「**おうむ石**」と呼ばれ、度会町の指定文化財となっています。

「オウム石」の語源は、この断層面が声によく反響することに由来しています。調べてみると、様々な場所に「オウム石」や「オウム岩」と呼ばれる場所があります。

この南中村「おうむ石」は、江戸時代正徳5年（1715年）には知られており、その頃、「一言一笑見事に答えてくれる。生きて音律を理解しているようだ」と称賛されていたようです。



別角度

今回の調査は度会町教育委員会を許可を得て行いました。